令和3年度

オンライン講座
第 13 回
重要文化財 II

13

2021
10月
No.13

熱海ブルーノ･タウト連盟

# タウト塾@熱海

タウト塾@熱海　オンライン講座　第13回

## 熱海の文化財の特色
## その１

熱海市教育委員会
生涯学習課　学芸員　栗木　崇

タウト塾@熱海　オンライン講座　第１３回

# 熱海の文化財の特色
## その１

熱海市教育委員会
生涯学習課　学芸員　栗木　崇

# 文化財とは？

- 我が国の長い歴史のなかで生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産
- 国の歴史、伝統、文化などを理解するために欠くことのできないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎をなすもの。
- 文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、市町の条例に基づき、指定、登録、選定することにより保護されています。
- 上記２つにあてはまる未指定の「広義の文化財」

公共財　　未来への貢献

# 文化財の種別

- 有形文化財
  - 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書など
- 無形文化財
  - 演劇、音楽、工芸技術など
- 民俗文化財
  - 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗習慣、民俗芸能、技術およびこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件
- 記念物
  - 史跡、名勝、天然記念物（動物、植物、地質鉱物）
- 文化的景観
  - 地域における生活、生業及び当該地域の風土により形成された景観
- 伝統的建造物群
  - 周囲の環境と一体をなった伝統的建造物群
- その他　埋蔵文化財　文化財の保存技術　重要美術品

# 文化財保護制度の歴史

| | |
|---|---|
| • 古器旧物保存方（明治４年） | 古社寺の「宝物」の調査 |
| • 古社寺保存法（明治３０年） | 保存金、指定制度の原型 |
| • 史蹟名勝天然紀念物保存法（大正８年） | アウトドア系の保存 |
| • 国宝保存法（昭和４年） | 国宝制定、社寺以外も対象 |
| • 文化財保護法（昭和２５年） | **文化財の誕生**　有・無形文化財、史跡名勝天然記念物、埋蔵文化財 |
| • 保護法改正（昭和２９年） | 地方自治体へ委任拡大 |
| • 文化庁の創設（昭和４３年） | |
| • 保護法改正（昭和５０年） | 点から面へ　伝統的建造物群、選定保存技術等 |
| • 改正（平成８年） | 登録文化財制度、活用の推進 |
| • 改正（平成１６年） | 文化的景観の創設、登録制度の拡充 |
| • 改正（平成３０年） | 保存・活用に関する地域計画認定制度 |
| | 支援団体指定制度の創設 |
| • 改正（令和３年） | 食文化など無形文化財の登録制度 |

# 熱海市内の指定文化財数

| 種別 | 内容 | 指定区分 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 国 | 県 | 市 |
| 有形文化財 | 建造物<br>絵画<br>彫刻等 | 75 | 6 | 15 |
| 無形文化財 | 工芸技術 | 0 | 0 | 0 |
| 民俗文化財 | 有形 | 0 | 0 | 0 |
| | 無形 | 0 | 1 | 7 |
| 記念物 | 史跡 | 1 | 0 | 3 |
| | 名勝 | 0 | 0 | 0 |
| | 天然記念物 | 1 | 1 | 6 |
| 計 | | 77 | 8 | 31 |

| | | |
|---|---|---|
| 登録文化財 | 建造物 | 13 |
| | 記念物 | 1 |

| | |
|---|---|
| 埋蔵文化財 | 75 |

令和3年4月1日現在

ＭＯＡ美術館
７０

伊豆山神社
３

般若院１

熱海市１

# 鹿島踊りの現状

神奈川県・東伊豆の鹿島踊分布図
作図：佐塚真啓
（国土地理院web, Google Mapほかをもとに作成）

鹿島踊り

# 熱海市に多い文化財

- 重要文化財の美術工芸品（ＭＯＡ美術館）
- 走湯山（伊豆山神社）に関する文化財
- 市内全域にある石丁場（採石）遺跡
- 東伊豆の鹿島踊
- 近代別荘建築

# 走湯山に関する文化財

伊豆御山、伊豆権現、走湯権現とも呼ばれ、箱根山（箱根神社）とあわせて二所と称され、三嶋社（三嶋大社）とともに武士政権の守護神として崇敬を受けたことはよく知られ、現在も伊豆山神社には多くの社宝が伝わっている。

| | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 所 在 地 | 所有者・管理団体 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 重文　彫刻 | 木造伊豆山権現立像 | １躯 | 伊豆山３７１－１ | 般若院 |
| 2 | 重文　彫刻 | 木造男神立像 | １躯 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 3 | 重文　工芸品 | 剣　無銘 | 1口 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 4 | 重文　書跡 | 紺紙金泥般若心経　後奈良天皇宸翰（伊豆国） | 1巻 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 5 | 県指定　彫刻 | 銅造走湯権現立像 | 1躯 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 6 | 県指定　彫刻 | 木造宝冠阿弥陀如来像及び脇侍像 | 3躯 | 伊豆山５７９ー３７ | 一般社団法人伊豆山浜生協会 |
| 7 | 県指定　書跡 | 紺紙金銀字交書仏説無所　望経 | １巻 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 8 | 県指定　考古 | 伊豆山経塚遺物 | １括 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 9 | 市指定　彫刻 | 木造狛犬 | ２躯 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 10 | 市指定　彫刻 | 木造男神・女神像 | ２躯 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 11 | 市指定　彫刻 | 木造地蔵菩薩像 | １躯 | 伊豆山土沢９５１ | 個人蔵 |
| 12 | 市指定　彫刻 | 銅造延命地蔵菩薩像及脇童子像 | 3躯 | 伊豆山日金１１５１ | 般若院 |
| 13 | 市指定　彫刻 | 木造役行者倚像 | １躯 | 伊豆山７０８－１ | 伊豆山神社 |
| 14 | 市指定　歴史資料 | 石造末代上人塔 | １基 | 伊豆山1148-1 | 伊豆箱根鉄道株式会社 |
| 15 | 市指定　史跡 | 走湯温泉跡 | | 伊豆山604－5 | 伊豆山走湯温泉組合 |
| 16 | 市指定　史跡 | 日金の伝三仙人塚 | | 日金山１１５１ | 般若院 |
| 17 | 国登録　記念物 | 十国峠(日金山) | 1ヶ所 | 伊豆山1145番2他 | 伊豆箱根鉄道株式会社 |

# 走湯

- 相模国唐濱（大磯町）に円鏡が出現、久良岐山に飛来、以後日金山と称される、松葉、木生、金地の「日金の三仙人」の神童により奉祭、甲斐国八代郡出身の天台僧竹生賢安により承和三年（八三六）に中興された『走湯山縁起』

- 「わたつみの
  なかにむかいひて
  いつるゆの
  いつのお山と
  むへにもいいけり」
  源実朝『金塊和歌集』

# 古代中世に遡る記述

- 「四方の霊験所は伊豆の走井信濃の戸隠、駿河の富士、伯耆の大山…」『梁塵秘抄』後白河法皇選
- 「熊野、金峰、立山、伊豆ノ走湯…」『新猿楽記』
- 「かゝるついでにゆかしき所みむ」『走湯百首』詞書 1024年奉納
- 歌人・相模の詞書により、参詣に物見遊山的な要素が感じられ、平安時代の中頃には著名な聖地（観光地）であったと考えられる

# 名勝（登録）　十国峠（日金山）

世界文化遺産に登録された富士山をはじめ十国（伊豆・駿河・遠江・甲斐・信濃・相模・武蔵・下総・上総・安房）五島（大島・利島・三宅島・新島・神津島）を一望に収める360度の眺望地点という特徴があり、碑、絵画、文学作品にもその眺望の特徴が示されている。

中世以前より伊豆・箱根・富士の修験霊場の要衝として重要な宗教的な意味を持った地点と考えられ、近世以降も死者の集まる霊山として知られ、春秋の彼岸には西相模、伊豆、駿東地区から大勢の参詣者が訪れている。

更新日:令和3年9月28日

# しずおか文化財ナビ

## 静岡県内に所在する国・県指定文化財を検索・閲覧できます。

TOPICS

静岡県文化財データベース「しずおか文化財ナビ」の利用について

2021年9月28日　令和3年度無形民俗スケジュールを公開しました。

2021年9月14日　「無形民俗文化財」の各文化財に動画を追加しました。

2021年6月22日　動画「しずおか文化財めぐり」を公開しました

2021年3月3日　一般公開を開始しました。

更新日：令和3年9月14日

# 木造男神立像

(もくぞうだんしんりゅうぞう)

| | |
|---|---|
| 指定区分、指定種別 | 国指定/有形文化財・彫刻 |
| 指定日 | 1981/06/09 |
| 員数 | 1躯 |
| 所在地 | 熱海市伊豆山708-1 |
| 一般公開有無 | 無 |
| 駐車場の有無 | 無 |
| 公開情報 | |

## 所有者情報

伊豆山神社　413-0002 熱海市伊豆山708-1　電話番号：0557-80-316

### 指定内容

像高212.2cm　平安時代

桂材の一木から丸彫りした男神像であるが、面相部のみ同じ桂材を矧足して彫刻している。幞頭をかぶり袍をつけ杖を持って立つ姿で、太い眉を寄せる相貌は甚だ異色である。その穏やかな彫りロと構造から製作は11世紀前半と考えられる。我国神像中最大の作例として注目される。

更新日：令和3年10月8日

# 伊豆山経塚遺物

(いずさんきょうずかいぶつ)

| | |
|---|---|
| 指定区分、指定種別 | 県指定/有形文化財・考古資料 |
| 指定日 | 1956/10/17 |
| 員数 | 一括 |
| 所在地 | 熱海市伊豆山字上野地708-2 |
| 一般公開有無 | 有 |
| 駐車場の有無 | 無 |
| 公開情報 | 随時　午前9時-午後4時　休館日水曜日 |

## 所有者情報

伊豆山神社　413-0002 熱海市伊豆山字上野地708-1　電話番号：

# 伝白山神社経塚出土品 でんはくさんじんじゃきょうづかしゅつどひん

大きく　さらに大きく

その他の画像　全2枚中2枚表示

考古資料 ／ 九州

福岡県
平安後期
①銅鋳造・②施釉陶器・③鉄鍛造・④銅鋳造・⑤施釉磁器
①総高42.1cm底径14.4cm
②高さ42.5cm胴部径40.2cm
③長さ29.8cm幅3.0cm
④最大径16.5cm
⑤身：高さ2.2cm底径3.9cm
　蓋：高さ1.6cm底径6.7cm
5点（①銅製積上式経筒・②黄釉鉄彩四耳壺・③鉄製短刀・④湖州鏡・⑤蓮華文合子）
福岡県小郡市三沢5208-3

| | |
|---|---|
| 県指定　彫刻 | 木造宝冠阿弥陀如来像及び脇侍像 |

| | |
|---|---|
| 県指定　彫刻 | 銅造走湯権現立像 |

走湯権現の姿は『走湯権現當峯辺路本縁起集』の中で「俗躰着袈裟持念珠錫杖」と記述され、現在も伊豆山神社などに伝わる「走湯権現立像」を思わせる。念珠や錫杖(しゃくじょう)の持物は後補を除くと現存しないが、袍(ほう)に指貫(さしぬき)を着た俗体に袈裟を纏(まと)った姿は、神仏習合の形としてよく知られている。

山梨県大月市観光協会ホームページより

大磯町郷土資料館春季企画展「旧高麗寺ゆかりの神像・仏像修理」解説資料より

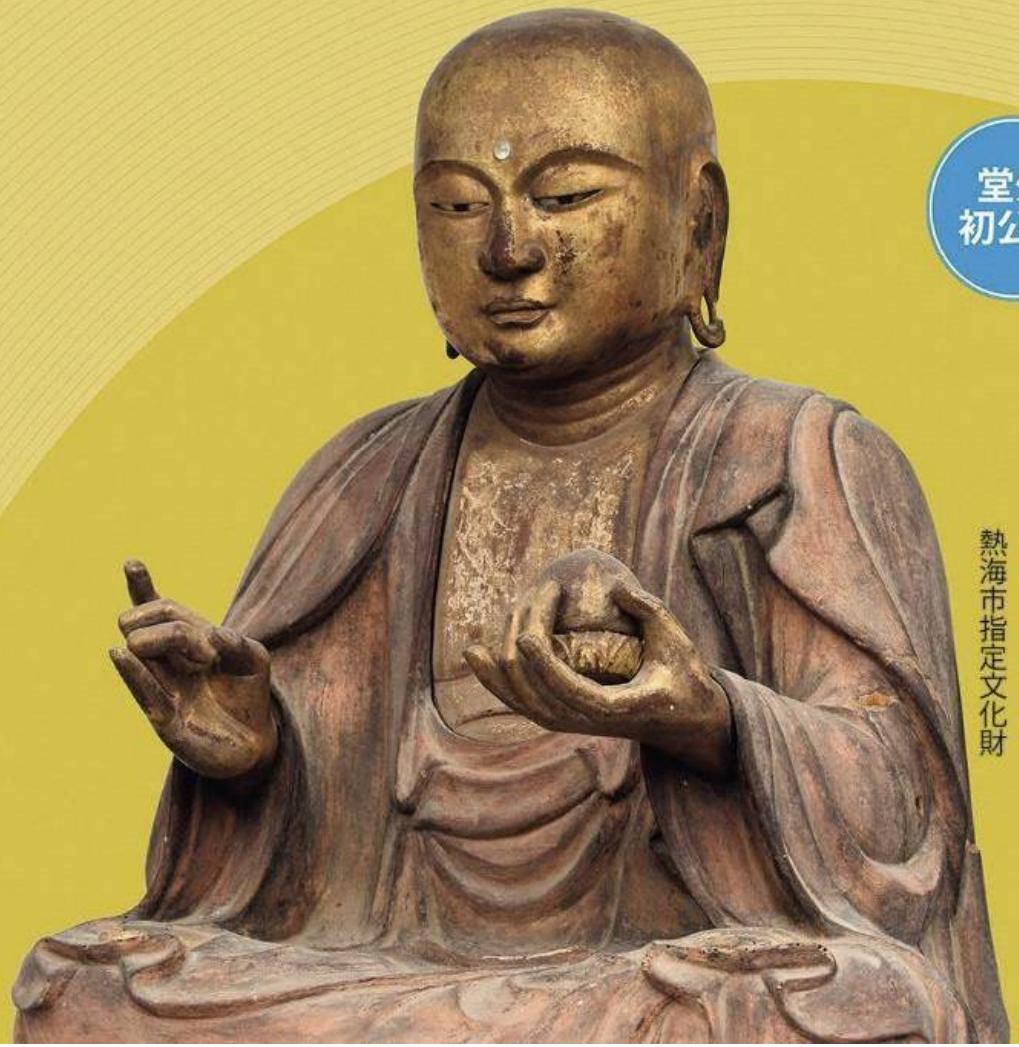
# 知られざる 伊豆の仏教美術

特別展

2020年10月10日(土)－2021年1月11日(月祝)

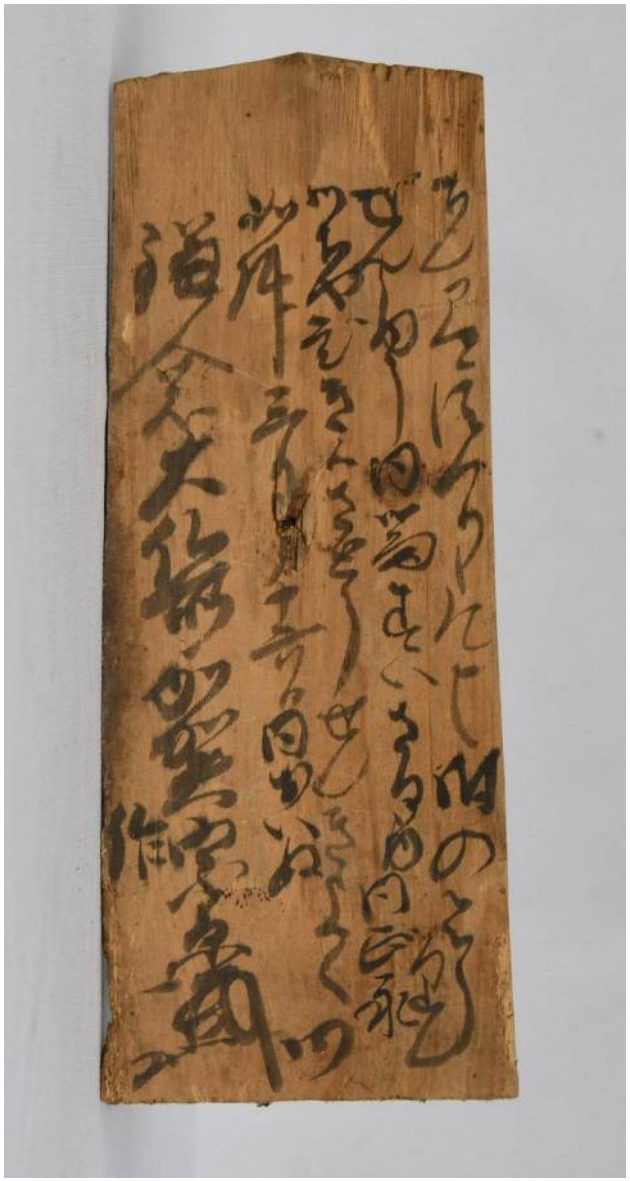
会期中無休

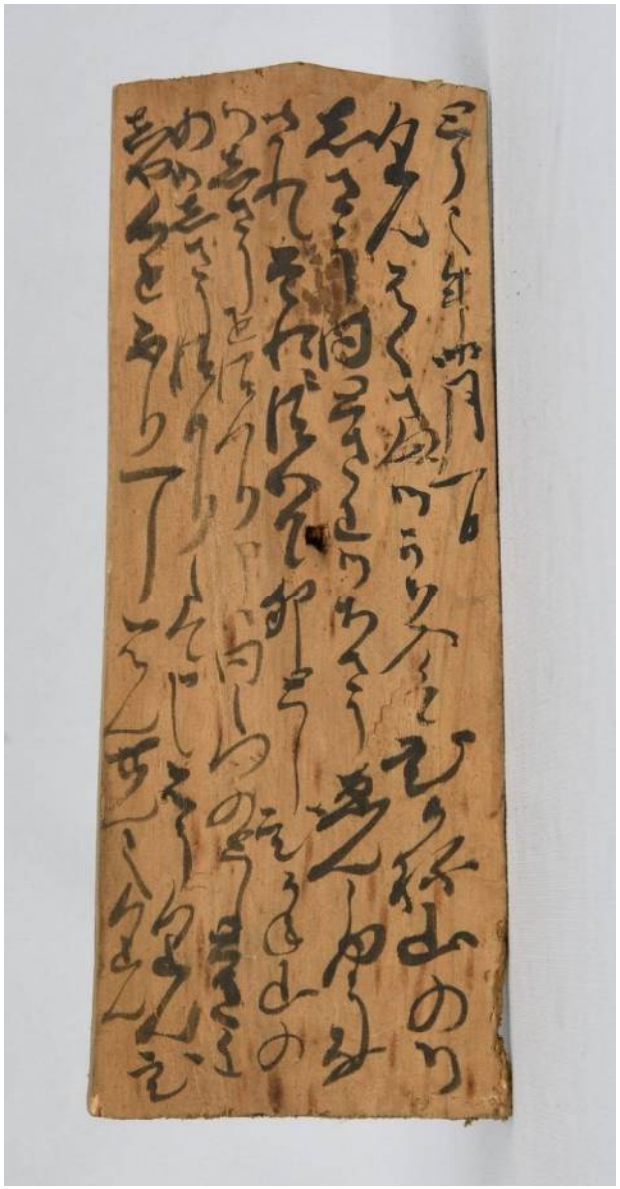
上原美術館
Uehara Museum of Art



堂外初公開

《地蔵菩薩像》熱海市・土沢地蔵堂
熱海市指定文化財





とら之年四月一日
くわんはくさま御かり入候て、ひかね山の御
しさう同とさわ御ちさう、ゑんしやうな
され候、それニついて、卯とし、ひかね山の
御しさうをつくり申候、同たつのとし、とさわ
の御しさうつくりたて申候、はうくわんひ
しやくをふり、一しはんせん之くわん

ちん申て、つくりたて申候、時のはうくわん
せんしやう、同留すいさる内・同正永、
御ちやひきハさとうせんきよく、仍
如件、　三月十六日同おいぬ
　鎌倉大仏所加賀宗円（花押）作

# 走湯山に関する文化財

- 古代・中世に遡る確実な資料（文化財）がある
- 鎌倉時代より前から有名だった聖地（温泉地）
  東国、武家の守り神となったことを視覚的に表す

令和3年度
オンライン講座
第13回
重要文化財 II
13
2021
10月
No.13
熱海ブルーノ・タウト連盟
タウト塾@熱海
タウト塾@熱海 オンライン講座 第13回
熱海の文化財の特色
その1
熱海市教育委員会
生涯学習課 学芸員 栗木 崇

**No.13 END**